

まっぼくッ



一般社団法人 巨樹の会

千葉3病院合同忘年会



Contents

2P 新年のご挨拶

3P 千葉3病院合同忘年会

4P 吉尾先生講演会・ドイツ研修

5P 国府台連携懇親会・褥瘡対策研修・医療安全勉強会

6P 職場体験・クリスマス会

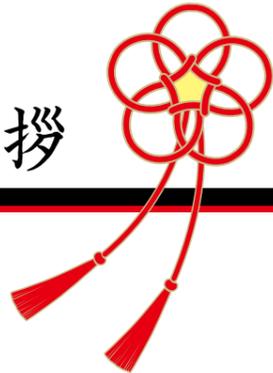
7P 院内旅行

8P 行事食





新年のご挨拶



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

開院4年目となり、当院がつつがなく新しい年を迎えることができましたのも、ひとえに皆様のご支援とご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

当院は、脳血管疾患や骨折はもちろんのこと、種々の神経疾患や循環器疾患、肺炎、手術後の廃用症候群による運動・言語・嚥下・高次脳機能などの障害にお困りの患者様に幅広くリハビリテーションを提供し、より良い状態で在宅復帰していただくことを目標とし努めてまいりました。本年もその目標に向かって職員一丸となり取り組んでまいり所存でございます。

今まで以上に皆様のお役に立てるよう、努力を重ねてまいりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



院長 岡田 仁

謹賀新年

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

当院は、おかげさまで4月に開院5年目を迎えます。これもひとえに、地域の皆様方からのご指導とご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

今年は、当院の理念である「手には技術 頭には知識 患者様には愛を」を職員一人一人が意識し、自分たちの持っている技術・知識・愛を最大限に発揮すると同時に、さらなる研鑽を積み、この松戸の地で「回復期リハビリテーション病院」としての役割を發揮し、微力ながら地域医療の一端を担っていきたいと思います。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。



看護部長 田中 且子

謹んで新年のお慶び申し上げます。

当院も開院4年目となり、回復期リハビリテーション病院として365日体制、患者様1人に対して最大1日9単位(3時間)のリハビリテーションを提供、そしてチーム医療の充実を図り、患者様や御家族様のご希望に沿えるよう努力して参りました。

本年も旧年以上にスタッフ一同、患者様にご満足頂けるリハビリテーションの提供・サービスの向上を心掛ける所存でございます。

また、急性期病院や地域在宅施設等、関係者の方々には当院の取り組みにご理解を頂き、患者様への治療・在宅生活でのサービス調整を円滑に進めて頂きました事を心より御礼申し上げます。

当院は「手には技術・頭には知識・患者様には愛を」を基本理念として、「安心・安全な医療」「回復期リハビリテーション医療」「地域医療」に力を注ぐため、リハビリテーション科の目標として「地域に根差した回復期リハビリテーション病院」「FIM効率グループ病院No.1」を達成するため切磋琢磨して参ります。

本年も当院スタッフ一同、連携施設との結束を深めて地域の方々のお役に立てるよう最大限の努力をして参りたいと考えております。

どうか皆様、今年も宜しくお願い申し上げます。



リハビリテーション科
係長 吉岡 博史

千葉3病院合同忘年会



12月9日(土)東京ベイ幕張ホールにて千葉3病院(八千代リハビリテーション病院・千葉みなとリハビリテーション病院・松戸リハビリテーション病院)合同忘年会が開催されました。来賓の方々を始め、グループ病院の方々、各病院のスタッフ等、参加人数は総勢600名を超え、とても盛大な会となりました。

余興では病院毎にダンス等を披露し、会場は一番の盛り上がりを見せました。当院からは1年目のリハビリスタッフを中心とし、さらに岡田院長、田中看護部長を交えたメンバーによるダンスを披露しました。順位は3位という結果でしたが、トップバッターにふさわしく会場を盛り上げる事ができました。

他病院や他部署のスタッフとも交流が図れ、とても楽しい時間を過ごす事ができました。

リハビリテーション科 理学療法士 長野 朱海





吉尾先生講演会

平成29年12月2日(土)千里リハビリテーション病院副院長・理学療法士の吉尾雅春先生による「脳画像のみかたと臨床への展開」とのテーマで講義が開かれました。講義には、巨樹の会系列病院の他、近隣病院の先生方も多く参加されました。

脳の機能を知ること、どこが障害されどのような症状が起きているかという事がある程度予測する事もでき、障害部位から連絡する線維が途絶えて本来の出来るはずの動作や感覚が分からなくなっているという事がもっと理解できるなど感じました。この講義で印象に残ったのが、一度回復期病院に入院された患者様が、歩けないまま発症後9カ月で施設退院され、リハ目的で再度回復期病院に入院した後、杖・装具で見守り歩行可能となり、自宅退院となった話でした。この話を聞いて、セラピストにとって、脳の機能を知っているか知らないかの差というものはとても大きいと感じました。これは、患者様にとっても大きいものだと思うため、しっかりと勉強しなくてはと身が引き締まりました。

今回の講義はとて有意義な時間となりました。また是非吉尾先生の講義に参加したいと思います。

リハビリテーション科 理学療法士 宮内 里紗



国府台連携懇親会



11月20日(月)国立国際医療研究センター国府台病院との連携懇談会を行いました。今年は医師、看護師、リハビリセラピストをはじめ多数ご出席いただき、ご紹介いただいた患者様について急性期病院、回復期リハビリテーション病院それぞれの立場から活発に意見交換することができました。

医療連携室 MSW 小山 桃佳

褥瘡対策研修

11月21日(火)国立国際医療研究センター国府台病院から皮膚・排泄ケア看護認定看護師の小岩井慶子先生をお招きし「褥瘡の基本」についてご講義いただきました。当院にご入院中の患者様の中には病気の後遺症から麻痺の残っている方もおり、褥瘡予防の観点からもポジショニング、シーティングは重要です。今回は、ご講義の後に職員が患者役となり実演指導もいただきました。今回の学びを患者様へのケアに活かしていきたいと思ひます。

看護部長 田中 且子



ドイツ研修

平成29年10月9日～18日の10日間、デンマーク・ドイツの2か国の3施設に研修する機会をいただきました。ヨーロッパとの大きな違いは、全ての方がリハビリを受けられる社会システムではない事でした。リハビリを受けられる人も、お金は保険で払われるため、とにかく早く社会復帰・仕事復帰するという目標をもって自主的に動いている文化でした。そのために動きたくなる環境を作られていたり、機械を導入していたりして思ひました。日本は、本人が希望すると、ほぼ全ての方がリハビリを受けられる状態にあります。皆さんが、リハビリの目的を自主的にもて、色々動きたくなるような環境を作っていきたいと思ひました。

リハビリテーション科 理学療法士 松井 貴司



医療安全勉強会



12月11日(月)今年度2回目の医療安全研修会を開催いたしました。今回は、NPO法人架け橋理事長の豊田郁子先生を講師にお招きし「医療倫理 患者家族の心理」と題してご講演いただきました。今回の学びを活かし、今後も職員一同、患者さまとご家族に寄り添う医療の提供に努めてまいります。

副看護部長 島田 七重

和名ヶ谷中学校の
職場体験学習を行いました

職場体験

11月30日(木)松戸市立和名ヶ谷中学校の生徒6名が当院へ職場体験に来てくれました。

医師・看護師をはじめ、リハビリセラピスト、薬剤師、社会福祉士たちと一緒に患者様に関わることで、病院で働く人の仕事を理解してもらうことができました。

当院での職場体験を通して、“働く”ということの責任の重さや楽しさを肌で感じてもらえたことと思います。(ご両親にも改めて感謝!…と)

今日の経験が、将来の夢につながればと思います。

看護部長 田中 且子



クリスマス会

12月25日(月)当院2階デイルームにてクリスマス会が行われました。2階、3階合わせて約60名の患者様に、玉入れや合唱等のレクリエーション、職員による楽器演奏に参加して頂きました。参加されている患者様の様々な表情や声が飛び交う中で、終始賑やかな会となり、入院生活の中でクリスマスを少しでも感じることのできる機会となったのではないかと思います。きよしこの夜の合唱では、普段なかなか耳にする機会の少ない大きな歌声が聞こえたり、涙を流されながら歌っておられたり、患者様の様々な思いを感じさせてもらいました。今後も、日々の入院生活の中で多くの思いを抱えて過ごされている患者様に、レクリエーションを通して季節感を感じて頂ける機会を過ごしていける様にしたいと思っております。

リハビリテーション科 理学療法士 蘆原 翔太



院内旅行

サイパン

12月15日~18日の4日間で、サイパン島へ行かせて頂きました。現地では少しのスコールが降っただけで天候にも恵まれ、サイパンの綺麗な海でパラセーリングやスキューバダイビング、バナナボートや水上バイクなどを楽しみました。ホテルの目の前にもプールがあり、夕方や夜にはプールでのんびりすることもできました。夜は涼しく過ごしやすい中で屋外BBQなどを食べ、南国ならではの音楽が流れる中、お酒を頂きながらゆったりとした空間の中で楽しい旅行になりました。

リハビリテーション科 理学療法士 林田 恭兵



バンコク

10月30日~11月3日の5日間でバンコクへ行ってきました。主に観光やショッピングを中心に楽しませて頂きました。観光では寺院巡りツアーガイドの方に日本とタイの文化の違いを教えてくださいました。ショッピングでは水上マーケットに行き、船同士、船と岸間で商品売り買いしている様子など見ました。今回の旅行を通じて普段見られない表情などお互いに見せることができ、職場の方々との親交を深めることが出来ました。

リハビリテーション科 理学療法士 尾崎 博孝



横浜港ランチクルーズ

11月26日、晴天の中、ランチクルーズ・カップヌードルミュージアム・八景島シーパラダイスと横浜づくしのバスツアーに参加しました。目玉はやはりロイヤルウィングのランチクルーズで、大さん橋を出港して美味しい中華料理をお腹がはち切れんばかりにいただきました。また来年も行きたいです!

2階病棟 看護師長 中山 圭太



京都

12月3日~5日の3日間で、京都に行ってきました。特に初日は暖かく、観光日和でした。紅葉は終わり頃でしたが、私たちが訪れた場所は比較的残っていたようで、色とりどりの景色を楽しむことが出来ました。世界遺産や観光地を巡り、おしゃべりとおいしい料理を楽しんで、時間も心もゆったりと過ごせた良い旅行になりました。

リハビリテーション科 理学療法士 山本 紘子



富士サファリパーク

11月10日、富士サファリパークへ行ってきました。サファリパークの特徴である動物のバスに乗り、冷たい風を感じる事が出来ました。金網越しに見るライオンやラクダは迫力満点でした!旅行を通して同僚たちとより仲を深めることができました。

リハビリテーション科 理学療法士 小田 健人



行事食

当院では季節に合わせたメニューはもちろん、患者様からのご要望が多いメニューを行事食に取り入れています。今後も患者様のご要望にお応えし、入院生活の楽しみと思っただけできるよう努めてまいります。

平成29年 12月24日 **クリスマス**

聖なるクリスマスに暖かいクリスマスランチを提供致しました。ビーフストロガノフはお肉が柔らかく濃厚なお味に仕上がりに、患者様にはお肉が柔らかいと大変ご好評でした。



平成30年 1月7日 **七草粥**

七草がゆを食べると、1年間無病息災で過ごせるといわれています。当院でも1月7日朝食に七草がゆを提供致しました。元気にリハビリをしてもらい退院後もかわらず元気に過ごせるように願いをこめました。



MENU

- チキンライス
- ビーフストロガノフ
- コーン入りサラダ
- コンソメスープ
- チョコケーキ



MENU

- 七草粥
- 大根の味噌汁
- 高野豆腐の煮物
- ブロッコリーと茸の和え物
- 牛乳



ホームページのご案内

病院の詳しい内容は、ホームページでご覧いただけます。ぜひご参照くださいませ。

松戸リハビリテーション病院

<http://www.matsudo-reha.com/>



松戸リハビリテーション病院 広報誌

2018 Vol.16

まっぼくり

平成30年2月発行



《交通機関》

■松戸駅 (JR常磐線・新京成線) 車で5分

○松戸新京成バス

- 如來堂経由東松戸駅 紙敷車庫行き (松戸駅東口2番のりば 松8 松10) 「庚申塔前」バス停下車徒歩5分
- 工業団地経由東松戸駅 紙敷車庫行き (松戸駅東口2番のりば 松7 松9) 「富士見台」バス停下車徒歩8分
- 三矢小台行き、野菊野田行き、新東京病院行き (松戸駅東口1番のりば 松1 松2 松3 松5) 「富士見台」バス停下車徒歩8分

■東松戸駅 (北総線・JR武蔵野線) 車で5分

○松戸新京成バス

- 如來堂経由松戸駅東口行き (東松戸駅4番のりば 松10) 「庚申塔前」バス停下車徒歩5分
- 工業団地経由松戸駅東口行き (東松戸駅4番のりば 松9) 「富士見台」バス停下車徒歩8分

企画発行 松戸リハビリテーション病院 広報委員会

千葉県松戸市和名ヶ谷1009番地の1
TEL : 047-703-1555 / FAX : 047-703-1556